



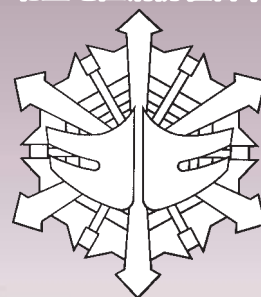
ぼうさい まもる
防災 守くん

ふれあい119

『北上地区消防組合発足30周年』

昭和49年4月1日、消防整備計画に基づく広域消防の政令指定により5市町村【北上市、和賀町、湯田町、江釣子村、沢内村】で北上地区消防等組合を設立し、地域の防災を担って30年がたちました。

北上地区消防組合章



【北上地区消防組合消防本部・北上消防署】

『自分たちの地域は自分たちで守ろう』



消防長
高橋 誠 一

国の地震調査研究推進本部は「今後30年以内に、マグニチュード7以上の大地震が発生する確立は三陸沖で90%、宮城県沖で99%」と公表されました。

このような地震が発生した場合、広範囲に亘って家屋の倒壊や火災が発生するとともに、道路、橋梁が損壊し、そしてガス、水道、電気等のライフラインもストップするという事態が予想されます。

又、洪水等の災害が発生した場合、緊急かつ広い地域での避難が余儀なくされる可能性もあります。

このような広範囲に亘る災害が発生した場合、我々常備消防力では、総力を挙げても到底及ばず、それぞれの地域の消防団と住民の皆さんが主役となって対処していただくしかありません。

そのような事態を想定し、あらかじめそれぞれの地域において、災害に向けての予備知識、地域の点検、対処法を認識し災害が起きた場合の役割分担などを話し合っていたいただきたいと思えます。

「愛する自分達の家族と地域は、自分達で守る」を合言葉に、地域の皆さんが心と力を合わせ、自主防災の体制を敷いていたいただくことを期待いたします。

【秋季全国火災予防運動】

11月9日(火)～11月15日(月)

『火は消した？』

いつも心に

きいてみて』

住宅防火 いのちを

守る 7つのポイント

― 3つの習慣 ―

○寝たばこは、絶対やめる。
○ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

○ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

― 4つの対策 ―

○逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。

○寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。

○火災を小さいうちに消すために住宅用消火器等を設置する。

○お年寄りや身体の不自由な人を守るために、近所での協力体制をつくる。

大災害が発生した

時のために

大災害が発生した場合、消防署などの防災機関は総力を挙げて応急対策を行いますが、すべての地域に対応することは困難です。そんな時、地域住民はどうすればいいのでしょうか。

「自分たちの街は、自分たちで守る」
しかないのです。つまり、隣近所の人たちが一致協力して組織的に活動することが一番望ましいことであり、より大きな力となります。

地域の皆さんが一緒になって防災活動に取り込むための組織を「自主防災組織」といいます。

自主防災組織の結成に当たっては、北上市消防防災課と、消防本部予防課で指導します。



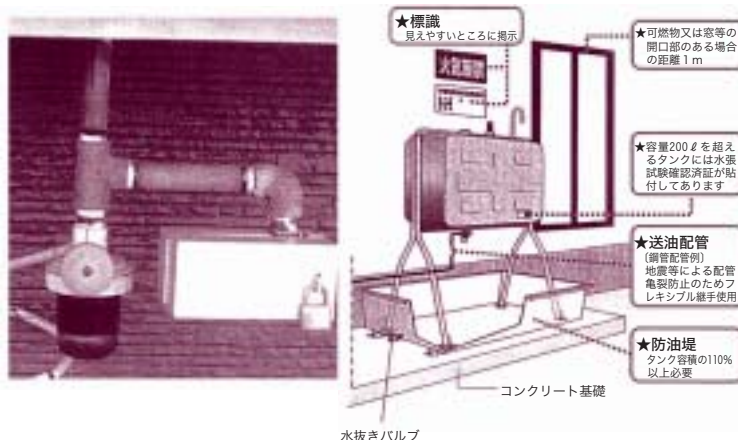
災害時の活動

『お宅のホームタンクの管理は万全ですか』

今年に入り、北上市内においていたずらと思われる行為により、ホームタンクからの油流出事故が数件発生しました。いたずらされて油を流されるとは誰も思っていないことです。ちなみに、犯人が特定されない場合、側溝や川などに流出した油の処理費用は、ホームタンクの持ち主に請求される場合があります。このような災害が降りかかる前の対策として

- ① 小分け用のコックレバーに鍵付きのカバーを取り付ける【市販されています】
- ② 小分けしない時は、油コックレバーを取り外しておく
- ③ 防油堤を設置する【200ℓ以上は設置が必要です】「まさか、いたずらされるとは」被害を受けた方が必ず言う言葉です。次はあなたの番かもしれません…

屋外用ホームタンク施工例（容量200ℓ以上1,000ℓ未満）



消防本部指令室 一般公開のお知らせ

秋の火災予防運動の初日にあたる11月9日は「119番の日」です。

北上地区消防組合消防本部では11月9日から11月15日までの間、午前9時から午後5時まで119番通報のしくみ、正しい119番の利用方法などを理解していただくため、消防指令施設を一般公開します。

当本部の指令施設は、平成15年3月に運用開始され、災害受付時に通報現場が瞬時にわかる「発信地表示システム」、指令室前面に配置した「70インチ大型プロジェクター」、現場で撮影した画像を受信できる「静止画像伝送システム」など最新鋭のコンピューターを搭載しておりますので、お気軽にお越し下さい。



【消防本部 指令室】

平成16年8月末現在の 火災件数は24件

平成16年1月から8月末までの北上地区消防組合管内（北上市・湯田町・沢内村）で発生した火災は24件で、前年と比較してみると前年は33件で、9件減少しております。

内訳は、平成16年1月から8月末まで北上市22件、湯田町0件、沢内村2件で前年は、北上市32件、湯田町1件、沢内村0件となっております。

火災件数は前年に比べ減少しておりますので、これからも火事を起こさないよう「火の用心」をお願いします。

ロープブリッジ救出チーム

（佐藤 忍・高橋啓介・高橋 達・佐藤潤二）

平成16年8月26日（木）兵庫県三木市において、第33回全国救助技術大会が行われ、当組合からロープブリッジ救出チームが出場しました。

各都道府県での大会で、全国大会への切符を手にした精鋭が集い、切磋琢磨した高度な技術を披露し、当組合から出場したロープブリッジ救出チームも負けず劣らずの技術を披露、そして「入賞」することができました。皆様のご声援ありがとうございました。

定期救命講習会実施中

「心肺蘇生法を知っていますか？そして誰にでも出来る応急手当を身につけていますか？」

この質問に、「イエエ」と思った方々、ぜひ救命講習を受けてください。北上消防では毎月第2、第3日曜日の午前9時から、消防本部の会議室で3時間の救命講習会を開催しております。予約も要りませんし、料金もかかりません。毎回救命士が講師を担当し、皆さんのお越しをお待ちしております。

**愛する人を救うために、
そして自分自身が後悔しないために、
正しい応急手当を身につけてください。**

山田救命士 誕生

今年5月、北上消防に18人目の救命士が誕生しました。プロフィールを紹介します。



氏名 山田 純哉
生年月日 昭和51年2月28日
出身地 湯田町左草
所 属 北上消防署

抱負 住民の皆さんと一緒に救命率の向上に頑張ります。

『1日消防士体験学習』

【西和賀消防署】

8月2日、西和賀消防署において、沢内中学校2年生吉田琢哉くん、高橋真人くん、藤原誠くん、久保和輝くんの4名が「1日消防士体験学習」を行ないました。最初に、署長から歓迎の言葉と仕事の内容についての説明があり、引き続いて礼式訓練、職員の防火衣を着用しての放水訓練等を体験しました。



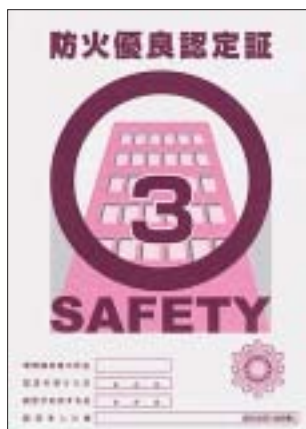
昼食は、職員と一緒に談話しながら食べ、生徒たちは、それぞれ「消防業務に益々魅力を感じた、将来消防に入りたい」等、消防の仕事に理解を深めていたようでした。午後からは、救急活動及び、救助活動で使用する資器材の取扱い訓練、ロープ渡り訓練等に心地良い汗を流していました。最後に署長から、働くことの大切さを聞くとともに、修了証を交付され、無事「1日消防士体験学習」を終了しました。

『救命の大切さを学ぶ』

【和賀中部分署】

8月23日～25日の3日間、和賀西中学校において全校生徒181名が、和賀中部分署職員から普通救命講習を受講しました。講習は、心肺蘇生法についてテキストと、ビデオでの説明後に、訓練用人形を使用して実技を受講しました。実技では最初、緊張しているようでしたが徐々に緊張も解けて救命の大切さを実感しているようでした。受講後のアンケートでは、「ためになった、もしも自分が現場に遭遇した時、心肺蘇生法ができるか自信がない」と言うような内容が多いようでした。

学校では、今回の普通救命講習会は初めてのころみでしたが、今後も生徒に「救命の大切さ」を学ばせたいと言っておりました。



大勢のお客さんでにぎわう大型店や、飲食店ビルの防火の備え、気になりませんか？…そんな時安全の目安になるのが、このセイフティマークです。防火対策が優良な施設では表示できることになりました。

あなたが利用する施設では、もう表示していますか？

御存知ですか
『防火セイフティマーク』